

## 向陽 SSH NEWS 第8号



編集：向陽高校SSH事務局

## 環境科学科1年生 環境論文ポスターセッション 向陽中3年生へ

9月20日(金)4・5限、武道場において、環境科学科1年生が向陽中学3年生に対して、環境論文のポスターセッションを行いました。

環境論文は、中学3年時に卒業論文として完成させた環境を題材とした論文です。今回、その内容を1枚のポスターにまとめ、これから環境論文に取り組む中学3年生に対してポスターセッションを行いました。

環境論文は、一人が一つのテーマで研究し、テーマは「オーランチオキトリウムを探る」、「暮らしを支えるレアメタル」、「異常気象と私たち」、「バイオエタノールの秘密」、「納豆の可能性」「レジ袋有料化している?」、「海底に眠る新エネルギー」「外来種とどう向き合っていくか」など様々な分野にわたっています。高校生一人が中学生一人を対象に自分が作成した環境論文について説明していききました。高校生の一生懸命に説明する姿と中学生の真剣に学ぼうという姿勢が見られ、生徒同士での中高連携の深まりを感じられるポスターセッションとなりました。

高校生にとっては、中学生で学習したことを再確認し定着させる良い機会となったと思います。高校生達のポイントを絞って、まとめた内容を分かりやすく伝える発表力に頼もしさも感じました。また、中学生からも「先輩の発表を参考にして、卒業論文として作成する環境論文をしっかりと考えて作っていききたい。」などの感想がありました。



## 1年環境科学科 SSHラボツアー 1日目(10/17)

### 大阪大学 吹田キャンパス 訪問

### 産業科学研究所 & 超高压電子顕微鏡センター & 理工学図書館

環境科学科1年生は、10月17日(木)・18日(金)の一泊二日で、SSHラボツアーに行ってきました。今回の研修では、先端科学・地球環境をキーワードに、科学に関する興味・関心をより一層深め、自分たちで学習しようとする力と、グローバルな視野と科学的な思考をもって実践的に問題を解決していく能力を身につけることを目的としています。

1日目に訪問した大阪大学吹田キャンパスでは、産業科学研究所、超高压電子顕微鏡センター、理工学図書館を訪問しました。



量子ビーム研究施設実験室

産業科学研究所は、基礎科学を極め、その成果に立脚して応用科学を展開し、材料、情報、生体の3領域の研究とナノテクノロジー・ナノサイエンス分野の研究を推進している総合理工学型研究所です。最初に、研究所で行われている研究について説明がありました。たとえば、TV番組「100秒博士アガミ」でも紹介された「犯人を絞り込む最先端の科学捜査技術」や「電気伝導性を持った透明な紙」など様々な研究を紹介いただきました。その後、量子ビーム科学研究施設内の様々な実験室で研究の現場を見学させていただきました。

超高压電子顕微鏡センターは、世界最高加速電圧の300万ボルト超高压電子顕微鏡ならびにその周辺装置を保有する研究施設です。超高压電子顕微鏡は、地下から地上2階までの巨大さで顕微鏡という概念を覆す最先端機器でした。この電子顕微鏡を利用した物質材料科学研究や医学生物学研究等について丁寧に説明を受けました。

理工学図書館では、ディスカッションをするスペースがあるなど普通に考えられる図書館とは違う部分を見学させていただきました。生徒達は、たくさんの蔵書と大学生の学習している姿に刺激を受けていました。



超高压電子顕微鏡

### 速報！！ 物理部が国際大会で優勝しました。

11月30日～12月1日にベトナムで行われた「アジア太平洋地域宇宙会議・水ロケット大会」に、日本代表として物理部の島崎稔君(1G)、堂野航平君(1G)が出場しました。個人戦において堂野君が優勝しました。

詳細は、後日SSHニュースで報告します。